

事前評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>おがきえきひらとぼし</small> 岡崎駅平戸橋線					
事業箇所	岡崎市 <small>みょうだいじ</small> 明大寺町					
事業のあらまし	<p>都市計画道路岡崎駅平戸橋線は、JR 岡崎駅から岡崎市の中心部を南北に縦貫する幹線道路である。</p> <p>本事業区間は、JR 岡崎駅と名鉄東岡崎駅を結ぶ区間に位置し、<small>みしま</small> 三島小学校の通学路となっているほか、沿道付近には六名小学校、<small>むつな</small> 竜海中学校や愛知教育大学附属岡崎中学校が立地しているため、通学時間帯には多くの歩行者・自転車<small>りゅうかい</small>が通行する道路である。加えて、市内の主要な公共交通である路線バスの運行ルートであり、沿線には愛知県西三河総合庁舎等の公共施設が立地しているため、災害時の電柱倒壊による二次災害を防止する必要がある防災上の重要な路線である。</p> <p>このため、災害時における道路の輸送機能維持による「防災機能の向上」、及び「通学路の安全性の確保」を主な目的として、電線共同溝の整備を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①地震・津波対策（防災機能の向上）</p> <p>②交通事故対策（通学路の安全性確保）</p> <p>【副次目標】</p> <p>――</p>					
事業費	事業費	内訳				
	9.0 億円	□工事費 6.0 億円、□用補費 2.5 億円、□その他 0.5 億円				
事業期間	採択予定年度	2023 年度	着工予定年度	2023 年度	完成予定年度	2029 年度
事業内容	電線共同溝設置 道路延長 L=470m（整備延長 L=940m）					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>波対策（防災機能の向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区間は、名鉄東岡崎駅と JR 岡崎駅を結ぶ区間に位置し、市内の主要な公共交通である路線バスの運行ルートとなっているほか、沿線には西三河総合庁舎等の公共施設が立地する重要な路線である。災害時、電柱倒壊による二次災害の防止を目的とした無電柱化の推進が必要である。 <p>②交通事故対策（通学路の安全性確保）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三島小学校の通学路となっているほか、沿道付近には六名小学校、竜海中学校や愛知教育大学附属岡崎中学校があり、自転車・歩行者の交通量が多く危険な状態ある。そのため、電柱を地中化し歩道を拡げ、歩行者の安全性及び快適な通行空間の確保が必要である。 				
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業区間の整備により、防災機能の確保・向上や、安全な歩行空間の確保、市中心部の良好な景観の形成が図られるため、事業の必要性は高い。 			

②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>調査設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td>2.5</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>・電線共同溝工事 ・歩道工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="5">7.0</td> <td colspan="2">2.0</td> <td>9.0</td> </tr> </tbody> </table>										2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計	工種区分	調査設計	←→							0.5	用地補償		←				→		2.5	工事			←				→	6.0	・電線共同溝工事 ・歩道工事			←				→		事業費(億円)		7.0					2.0		9.0
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	合計																																																								
	工種区分	調査設計	←→							0.5																																																								
		用地補償		←				→		2.5																																																								
工事				←				→	6.0																																																									
・電線共同溝工事 ・歩道工事				←				→																																																										
事業費(億円)		7.0					2.0		9.0																																																									
2) 地元の合意形成	<p>・事業について地元説明を行い、合意形成を得ている。なお、用地買収は不要であるが、占用物の移設補償が必要となる。</p>																																																																	
判定	<p>A A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】</p> <p>・愛知県電線地中化推進協議会等を活用し、関係事業者協議を行うことで円滑な事業環境が整う見込みであり、計画の実効性が確保されている。</p>																																																																	
III 対応方針																																																																		
事業実施が妥当である	<p>事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。</p>																																																																	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容																																																																		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>・防災上の支障となる要素（電柱、電線等）の解消状況、安全性の改善状況</p>																																																																		